

新聞

2017年(平成29年)9月16日(土曜日)

前橋「ピザの街」売り込む

「高崎。パスタ」に続け!!

前橋を「ピザの街」として売り出そうと、ピザを出す市内の料理店が味を競つイベントが11月に初めて開かれる。小麦の産地でうどんなどの粉食文化が根付いているうえ、市内に有名ピザ窯メーカーが拠点を構えていることなどを踏まえ、ピザを新たな名物に育てる。「パスタの街」として知られる高崎に対抗し、地域活性化を目指す。



ピザを新たな名物に育てる(前橋市内の料理店)

11月に初イベント

市内料理店 味競う



前橋市の増田煉瓦は、全国にピザ窯の販路を持つ

新たなイベント「キングオブピザ」は11月11日、前橋市中心市街地の中央イベント広場で開く。地元経営者などで構成するキングオブピザ実行委員会の主催で、前橋市が共催する。大会会長には前橋市の山本龍市長、実行委員長には地方創生関連イベントなどを開いている群馬県地域活性化協議会の上野宏史代表理事が就いた。

市内のイタリア料理店10店舗程度が出店、会場に小型のピザ窯数台を設置して焼きたてを味わってもらう。来場者は各店のピザ1ピース(6分の一にカットしたもの)を数店舗分食べ比べて気に入った店に投票、得票が最も多かった店が優勝となる。料金は1切れ200円程度とし、会場ではワインやソフトドリンクも販売する予定だ。1000~1500人程度の集客を目指す。

出店者にはオリジナルメニューなどその店の特徴が出たピザを出すよう要請する。イベントで提供したメニューは実際の店舗でも販売し、店のファンづくりにつなげる。実行委員会によると、群馬県内には約600店舗のイタリア料理店があり、多くが高崎と前橋に集中している。前橋周辺は二毛作地域で小麦の生産が盛んだったため、古くからうどんなどの粉食文化が広まっており、ピザやパスタに代表される

イタリア料理を受け入れる素地があったことも背景にある。加えて前橋市内には全国に販路を持つピザ窯メーカーである増田煉瓦が本社を置く。飲食店向け研修施設を併設しており、同社で学んだ経験のあるイタリア料理店スタッフも多いという。実行委員会には同社の増田晋

一社長も加わる。隣接する群馬県高崎市では市内のパスタナンバーワンを来場者の投票で決める「キングオブパスタ」を2009年から開いており、1万人程度の来場者を集める人気イベントになっている。今年11月12日に実施する予定で、キングオブピザの実行委員会は相乗効果を

狙って前日の11日を開催日とした。キングオブピザの日程や名称については、高崎のキングオブパスタ実行委員会にも了承を得ており、前橋市の山本市長は「今後は前橋と高崎が手を携えて群馬の小麦文化をアピールできるようにしたい」と構想を描いている。

NIKKEI

2017年(平成29年) 9月16日 土